

国語の教科書でも取り上げられる文豪の作品の中から、東京の地名や名所が登場するものをピックアップしました。

クイズで知る

文豪が描いた東京

問題

夏目漱石 『三四郎』

●●にはかつてあった外濠線の駅名が入ります。下記の(一から四のうち、どれでしょう？)



『三四郎』夏目漱石 新潮文庫刊

三四郎はかの平野家行き以来とんだ失敗をしている。神田の高等商業学校へ行くつもりで、本郷四丁目から乗ったところが、乗り越して九段まで来て、ついでに飯田橋まで持っ
てゆかれて、そこでようやく外濠線へ乗り換えて、御茶の水から、●●へ出て、まだ悟らずに鎌倉河岸を数寄屋橋の方へ向いて急いで行ったことがある。それより以来電車はとかくぶっそうな感じがして(後略)

(新潮文庫版 一九四八年発行より引用)

- 一、万世橋
- 二、日本橋
- 三、神田橋
- 四、三原橋

【ヒント】本作品が発表されたのは明治41年。東京鉄道会社

外濠線で御茶ノ水から数寄屋橋方面へ2駅先です。

現在は首都高速都心環状線のJCTがあります。



国立国会図書館蔵



前号の答えは 一 上野公園

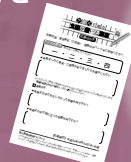
『浮雲』は1887(明治20)年に発表された作品です。上野公園は1876年に完成した日本初の公園で、引用文中には博物館、動物園、観音堂という3つの施設が登場し、すべて現存します。観音堂とは国指定重要文化財の清水観音堂のことです。



応募方法と読者プレゼント

差込のはがきに「クイズの答え」のほか、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上ご応募ください。

- ※締切りは平成26年10月29日(水)必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- ※ご記入いただいた情報は、プレゼント発送の目的のみに利用させていただきます。
- ※E-mailでの応募は受け付けておりません。



クイズのご応募は、差込はがきのみで受け付けます!



※写真はイメージです。

明治6年創業で兄弟店が作品に登場する

台東区上野 岡荳栄泉総本家

正解者の中から抽選で5名様に

焼き菓子詰合せ (3,000円相当)をプレゼント!

「かがやき」の誌面づくりにご参加ください!

ご意見・ご感想をお待ちしています。

「かがやき」編集部では、皆様のご意見やご感想、また誌面へのご要望等を募集しています。組合員の皆さんにとってより楽しく、より役に立つ誌面づくりに生かしたいと考えていますので、率直な声をお聞かせください。

※お寄せいただいたご意見等は、次号以降の誌面でご紹介させていただく場合がございます。

応募方法

差込の「かがやき」編集担当宛てはがきでお寄せください。

記載内容の掲載を希望されない方は、はがきの「掲載不可」の欄にチェックを入れてください。

個人情報の取扱いについて

差込はがきにご記入いただいた方の個人情報については、各種イベント申込み・抽選、プレゼントの発送並びに今後のご案内の発送の目的のみに利用させていただきます。